

令和05年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

事務事業名 (中事業)	35818 社会福祉法人等就業者確保支援事業				
基本政策	02 つながりによる安心とうるおいが実感できるまち				
政策	01 地域福祉を充実する				
施策	01 支え合いの気持ちを醸成します				
実施形態	補助・負担金				
事業期間	単年度	令和2年度～			
要求区分	継続	予算区分	政策		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有無	なし				
法令名 条項					
予算科目	01-030101-170100				
部名	23 福祉部	課名	01 社会福祉課		
課長名	正木 万貴子	T E L	0795-22-3111	内線	1140

2. 対象・目的・内容

事業概要	市内の社会福祉法人等における若手職員の人材確保と定着を図るため、兵庫県の社会福祉法人等奨学金返済支援制度事業補助金を利用し、法人負担による奨学金返済支援制度を設けている市内の社会福祉法人等に対し、負担額の一部を補助する。
事業の対象 (誰・何を)	市内に主たる事業所等を有する社会福祉法人及び医療法人（営利法人は除く）で、次の要件を満たすもの <主な要件> ・奨学金返済支援制度を設けていること。 ・県補助金の交付決定を受けていること。
事業の目的 (どういう状態 にするために)	職員の奨学金返済を支援する市内の社会福祉法人等を補助することで、職員の経済的負担の軽減と働きやすい環境を実現し、若手職員の人材確保と定着を図る。
事業の内容 (どういう内容 を行うのか)	法人負担（職員への支給額）から県補助金を差し引いた実質法人負担額の1/2（年上限額：6万円/人）を補助

3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費の内訳						
		国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源
令和02年度決算額	15	0	0	0	0	0	15	0
令和03年度決算額	60	0	0	0	0	0	60	0
令和04年度決算額	73	0	0	0	0	0	73	0
令和05年度予算額	480	0	0	0	0	0	480	0

4. 総コストの概算

(単位：千円)

令和04年度のこの事業に 従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	令和04年度 決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	会計年度任用職員				
0.10	0.00	0.10	710	73	783
事業費の主な用途		補助金			

令和05年度 当初予算事業の概要説明書 (兼評価説明書)

5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指標名	市補助金申請件数				単位	件
	説明や数式	市補助金の申請を行った法人の件数					
	年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度		
	目標値	2	2	3	3		
	実績値	2	2				
	経費(千円) 単位当たりのコスト	60 30	73 36.5				
活動 指標 ②	指標名					単位	
	説明や数式						
	年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度		
	目標値						
	実績値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
成果 指標 ①	指標名	市補助金対象職員数				単位	人
	説明や数式	市補助金の要件を満たす職員数					
	年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度		
	目標値	5	5	6	6		
	実績値	3	3				
	経費(千円) 単位当たりのコスト	60 20	73 24.33				
成果 指標 ②	指標名					単位	
	説明や数式						
	年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度		
	目標値						
	実績値						
	経費(千円) 単位当たりのコスト						
実績・成果 等の説明	令和2年度から事業を開始し、市内の社会福祉法人から2件の申請があり、新規採用者等の若手職員の人材確保のために活用されている。						

6. 評価

1 次 評 価	評価 ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	1	実施主体の妥当性	4
	事業の 総合評価	サービスの対象	2	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	2
	説明	継続実施 職員の奨学金返済を支援する市内の社会福祉法人等に対し補助することで、職員の経済的負担の軽減と働きやすい環境を実現し、若手職員の人材確保と定着に寄与するため、継続して実施する必要がある。					
外 部 評 価							